



ふるさとウォッチング



また、この工事中には「安永3年（1774年）」の墨書も発見され、その建築時期が明らかになりました。上棟式では、安全を祈願する神事に続き、親族や市、施工関係者などが見守る中、職人らの手により棟木が丁寧に取り付けられました。堀江家住宅は、ふるさとの貴重な文化財として、来年度には復元される予定です。



7/22

国重要文化財「堀江家」上棟式

現在、重要文化財（国指定建造物）である「堀江家住宅」の老朽化に伴う保存修理事業がすすんでいます。吉田町民谷地区に位置する「堀江家住宅」は、茅葺き屋根と三間間づくりで中国地方山間部における農家建築の代表例として、昭和44年に国の重要文化財に指定されています。



濃厚な香りと鮮やかなピンク色が特徴の「さ姫」と呼ばれるバラを、その独特の香りを楽しみながら摘みとっていきましました。



7/15

バラ園無料摘み取り体験

三刀屋町の明石緑ヶ丘公園の隣接地にある奥出雲バラ園で、1周年記念イベントとしてバラの摘み取り体験（奥出雲バラ園・旬フレグランス・ロゼ主催）がありました。市内外から訪れたおよそ300人は、

日本と韓国の小中高生が、農業体験やボランティア活動を通じ地域との交流を深める「ユースワークキャンプin木次」が8月1日から11日の日程で開かれ、4日には参加者（ユース11名とベトナム、イタリア人などのスタッフ9名）らが木次町内の伝承地などを訪れました。このキャンプは、NPO法人日本国際ワークキャンプセンターと木次町湯村地区の槻之屋振興会（斎藤文隆会長）や農事組合法人槻之屋ヒールングラで構成する実行委員会が、県内でははじめて実施したものです。期間中、天が淵や八本杉などヤマタノオロチの伝承地を巡ったほか、野菜収穫や出荷などの農業体験、地域でのホームステイなどを通じ、日本の歴史や文化に触れました。今回の田舎暮らし体験は、子どもたちの人生の大きな糧となったことでしょう。



8/4

雲南市探訪スサノオ紀行



この内、長いすづくりに挑戦したおやこ木工教室（主催 親木遊空倶楽部 郷原政義代表）には14組の親子連れが参加。普段あまり持つことのない釘と力ナツチを手に悪戦苦闘している人もいましたが参加者たちは親子の共同作業を通して楽しい時間を過ごしていました。

大東町のまちづくり役場で、親子のふれあいや地域との交流の場にと小中学生を対象とした夏休み体験教室が開催されました。企画したのは、まちづくり役場を拠点に活動するまちづくりのパートナー

7/16

まちづくり役場で夏休み体験教室



子どもたちは、大はしやぎで放流された100匹のアユをつかんでいきました。

掛合町人間地区にある八重滝駐車場場で八重滝まつりが開かれました。滝開き神事の後、地元住民らによる出店やアユのつかみ取りがあり、お盆で帰省している人なども加わりにぎやかに行われました。

8/14

八重滝まつり



今年も赤川の豊かな自然環境を守ろうと、赤川クリーンキャンペーンが行われました。早朝にもかかわらず、スポ少や老人クラブ、流域自治会から総勢150名が参加し、中ノ大橋から神原大橋までのおよそ1.3km区間のゴミ拾いをしました。ゴミは年々少なくなってきたとはいえ、中にはかばんやブランターもあり、参加者を驚かせました。集められたごみは各自が分別学習を兼ねて分別しました。

7/9

赤川クリーンキャンペーン2006